



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

ロボットとコミュニケーションするには？ 「あいまい」が導く人間らしさと可能性

追手門学院が OTEMON VIEW を開設


学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは


「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。


人気の記事 \よく読まれている記事 /

1 2021.03.05 社会とくらし

 「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
 14977Views
 OTEMON VIEW編集部

2 2021.09.02 地域・観光

 死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
 12752Views
 OTEMON VIEW編集部

3 2021.04.02 社会とくらし

 「大学広報」がNHKドラマ化。「ほぼ神崎真」が見た「大学広報」とは。
 10922Views
 OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.03 こころとからだ

 「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！？
 10785Views

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

私たちは人と話すとき、言葉を省略したり、2人だけがわかる言葉を使うなど、いわゆる「あいまい」な言葉を用いています。将来、人間とロボットが言葉でより円滑なコミュニケーションをとるには、この「あいまい」な言葉の理解がポイントです。

今回は、自然言語処理が専門の心理学部人工知能・認知科学専攻の井佐原均教授が、人間らしい言語コミュニケーションのカギを握る「あいまいさ」を解説します。

(以下は主なポイント)

言語コミュニケーションとはなにか

- テキストから意味を理解する自然言語処理技術
- 第二次世界大戦時からあった研究

AIによる自然言語処理の現在地

- 完璧に近づく翻訳処理。一方で残された課題は？
- AIによって進展を遂げた対話型システム
- 介護現場での活用。会話のパターンを学習する!?

「あいまい」表現は会得できるか？

- 人間味のあるコミュニケーションの実現のために
- 個人ごとの好みや考えに対応する

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2209/>



井佐原教授が開発に関わる対話機能を搭載したロボット

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西